

循環器病対策関係事業（健康増進課分）

循環器病対策推進事業（令和4年度）

1 事業目的

脳卒中、心臓病その他の循環器病が、県民の疾病による死亡・介護の主要な原因になっている現状に鑑み、県をはじめ、各種関係機関・団体が協働で総合的な循環器病対策を全県的に実施する。

2 事業内容**(1) 循環器病対策研修会の開催**

循環器病に係る保健、医療又は福祉の業務に従事する者の育成及び資質の向上のために研修会を開催。

ア 対象者

県内の循環器病対策に従事する医師・看護師（保健師）・薬剤師・管理栄養士・理学療法士・言語聴覚士・作業療法士 等

イ 実施方法

鹿児島県医師会へ委託

ウ 研修内容等

回	研修内容等
1	①令和4年10月26日開催 ②研修内容 ○講演1 「循環器病対策基本法が鹿児島県脳卒中・循環器医療をどう変えるのか？」 鹿児島大学心臓血管・高血圧内科学 教授 大石充氏 ○講演2 「脳卒中の最新治療と予防対策 ―循環器病対策基本計画をふまえて―」 鹿児島医療センター脳卒中センター長・脳血管内科部長 公益社団法人日本脳卒中協会 鹿児島県支部長 松岡秀樹氏 ③参加者数 286名
2	①令和5年1月30日開催 ②研修内容 ○講演1 「大動脈解離に対する外科治療」 鹿児島大学心臓血管外科学 助教 向原公介氏 ○講演2 「急性冠症候群に対する取組～鹿児島style～」 鹿児島大学心臓血管・高血圧内科学 助教 神田大輔氏 ○講演3 「多職域連携による心不全予防」 鹿児島大学心臓血管・高血圧内科学 講師 窪園琢郎氏

(2) 啓発用ポスター，チラシの作成・配布

循環器病対策の普及啓発を図るため、「CHECK！！ 循環器病」のポスター及びチラシを作成・配布。

ア 配布先

各地域振興局，各市町村，健康づくり関係団体等

区分	作成数	配布先数
ポスター	330枚	約300か所
チラシ	50,000枚	約300か所 他研修会等で配布

※ 「地域・職域・学域連携推進委員会」で決定した啓発用キャッチフレーズ「『脳卒中警報』発令中！」を掲載

(3) 「世界脳卒中デー」のライトアップ

脳卒中に関する理解を深めていただくことを目的に，世界脳卒中デーである10月29日に日本脳卒中協会鹿児島県支部と合同で，アミュラン，高見橋及び西田橋をインディゴブルー（藍色）にライトアップをした。



【アミュラン】



【高見橋】



【西田橋】

(4) 県循環器病対策推進協議会の開催

本県の循環器病の予防や保健・医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実に推進するため，県循環器病対策推進協議会を開催する。

健康づくりを支援する社会環境整備事業

1 事業目的

「健康寿命の延伸」と「生活の質の向上」を図るため、社会全体で県民の健康づくりを支える社会環境の整備を促進する。

2 主な事業内容

(1) 産業界との連携による社会環境の整備

ア 食の環境整備（かごしま食の健康応援店の拡大）

栄養成分を表示したり、ヘルシーメニューを提供する飲食店や弁当店等を「かごしま食の健康応援店」として登録し、ホームページなどを活用しながら利用促進を図る。

令和4年12月末現在、761店

イ 女性の健康づくり協力店等の登録

女性の健康づくりを地域で支援する気運を醸成するため、女性の健康づくりを支援する店舗等を募集・支援する。

令和4年12月末現在、女性の健康づくり協力店 75店
女性にやさしい医療機関 71医療機関
女性にやさしい薬局 156薬局

ウ 受動喫煙防止の環境整備（制度の周知、「たばこの煙のないお店」登録制度）

(ア) がん・COPD（慢性閉塞性肺疾患）等生活習慣病の予防対策として受動喫煙の防止を推進するため、飲食店に禁煙への取組を働きかけ、登録ステッカーを交付するとともに、ホームページ等を活用して県民の利用促進を図る。

(イ) 県民や施設の管理権原者などに対し、受動喫煙の健康影響や法律の内容について周知啓発を行う。

(ウ) 鹿児島市以外で全面禁煙に取り組む飲食店又は喫茶店を「たばこの煙のないお店」として登録し、県民の健康づくりを支援する社会環境整備を図る。

令和4年12月末現在、807店

(2) 職場ぐるみの健康づくり支援（「職場の健康づくり賛同事業所」登録制度）

メンタルヘルス対策等職場の健康づくりに積極的に取り組む事業所を「職場の健康づくり賛同事業所」として登録し、指導媒体の貸出や衛生教育の講師として管理栄養士や保健師の派遣を通じて、職場における健康づくりを支援する。

令和4年12月末現在、338事業所

メタボリックシンドローム予防対策事業

1 事業目的

肥満や生活習慣病を予防・改善するため、県をはじめ、各種関係機関・団体が協働で総合的な肥満及び糖尿病等対策を全県的に実施する。

2 主な事業内容

(1) イエローカードキャンペーン推進強化

かごしま健康イエローカードキャンペーンの強化月間（10月）を中心に、関係機関と連携・協働して、県民に生活習慣の改善（行動変容）を促す啓発活動を展開する。

ア 普及啓発活動

- (ア) 各団体の広報媒体（ホームページ、広報番組、広報誌、会報、社内報等）を活用した健康増進のための普及啓発
- (イ) 市町村によるイベント（健康教室、スポーツ大会等）の開催
- (ウ) 職場の健康づくり賛同事業所によるイベント（健康教室、スポーツ大会等）の開催
- (エ) 医療保険者・産業保健機関によるセミナーの開催
- (オ) 学校、PTA、あいご会等による研修会や健康教室の開催
- (カ) 県による啓発用ポスター、リーフレットの作成・配布

区分	作成数	配布先数
ポスター	500枚	約300か所
チラシ	20,000枚	約300か所 他会議等で配布

※ 令和4年度は、「減塩」がテーマ

イ かごしま食の健康応援店等における協賛イベントの実施

「かごしま食の健康応援店」、「女性の健康づくり協力店」及び「たばこの煙のないお店」において、かごしま健康イエローカードキャンペーン強化月間中に、当日使用できる割引や追加サービスの提供、次回以降の特典付与等を行う。

(2) 地域健康づくり活動の推進

健康かごしま21及び健康日本21の趣旨や地域の健康課題に応じて、健康づくりに役立つ情報（栄養・運動・休養等の重要性や実践方法等）について、健康教室、料理教室、地域の集会、戸別訪問等、様々な手段を活用して普及啓発を行う（食生活改善推進員連絡協議会へ委託）。

(3) 運動の習慣化の推進

県民の運動の習慣化による健康づくりを支援するため、健康運動指導士・管理栄養士・保健師等の専門職種の技術向上を図る（健康増進センター等で実施）。

健康かごしま21推進協議会事業

1 事業目的

県健康増進計画「健康かごしま21」の推進組織となり、また、健康関連団体の連携を図る「健康かごしま21推進協議会」及び「地域・職域・学域連携推進委員会」等を開催し、県民の健康づくりを効果的・体系的に推進する。

2 主な事業内容

(1) 「健康かごしま21推進協議会」の開催

保健医療専門家、保険者、非営利団体、企業、地域・家庭・学校、マスコミなどの健康関連グループからなる「健康かごしま21推進協議会」を開催し、健康づくり推進方策や健康関連グループの連携・役割等について協議する。

(2) 地域・職域・学域連携推進委員会の開催

健康かごしま21推進協議会で決定された重点課題について、専門部会等の意見も踏まえつつ、地域・職域・学域保健の関係者により、県民の健康づくりにおけるより広域的、具体的な連携推進方策等について協議・検討する。

また、委員会構成団体の協力の下、奇数月に職場の健康づくり情報紙「健康かごしま21通信」を発行し、職場の健康づくり事業所や市町村等に対し、生活習慣の改善をはじめとする健康づくりに関する情報を提供している。

(3) 健康かごしま21地域推進協議会の開催

健康かごしま21推進協議会で決定された重点課題及び地域の実情に応じた課題について、多様な健康関連グループがそれぞれの立場で行う取組や地域・職域・学域の連携による取組について協議・検討を行い、地域における「健康かごしま21」を推進する。

3 「脳卒中予防」の取組

本県は、脳卒中による死亡率が全国に比べて高いことから、「脳卒中予防」を5つの重点テーマの一つをとし、高い脳卒中死亡率の認知度向上を図るとともに、バランスのよい食生活の推進や運動の推進、危険因子の早期発見、再発・重症化の予防に取り組む。

啓発用共通キャッチフレーズ

「脳卒中警報」発令中！
～鹿児島県の脳卒中死亡率は全国平均の1.3倍です～
(標準化死亡比(SMR)は全国の1.1倍です)

脳卒中対策推進事業(平成28年度～令和3年度)**1 事業目的**

本県の脳卒中による死亡率は、他県より高値で推移しており、要介護状態となる主な要因となる等、大きな健康課題となっていることから、平成23年度から27年度は脳卒中対策プロジェクト、平成28年度から令和3年度は脳卒中対策推進事業において、関係機関等との連携により、脳卒中を切り口とした生活習慣病対策に取り組んでいる。

脳卒中対策を重点的・集中的に実施することにより、県民の脳卒中の発症・重症化予防に対する理解の促進を図り、その実践に向けた健康的な地域づくりを推進することにより、県民のQOLの向上や、脳卒中による早世の減少に資する。

2 主な事業内容**(1) 脳卒中予防推進体制の構築に関すること****ア 脳卒中対策推進検討会**

庁内検討会、関係者検討会による、事業実施方法の検討・評価、事業展開に係る調整等

イ 脳卒中対策推進研修会**(ア) 保健、医療、介護関係者に対する研修会（年2会場）**

脳卒中対策推進に係る保健・医療・介護関係者等に対する研修会の開催

(イ) 県民向け啓発講演会・シンポジウム（年1会場）

県民の理解促進・取組の気運醸成を図る脳卒中予防に係る講演会・シンポジウム等の開催

ウ 県下全域での啓発強化

- ・ 啓発用ポスター、チラシの作成
- ・ パンフレット等を活用した脳卒中発症予防啓発
- ・ 健康づくりボランティア団体による啓発強化活動
- ・ 青壮年期を対象にした食生活調査・減塩指導の実施（委託事業）

(2) 重点取組地域での事業展開

ア 重点取組地域(南薩地域, 奄美地域(名瀬保健所管内)の市町村)での総合対策推進

(7) 脳卒中を切り口にした生活習慣病対策検討会等による課題抽出・方策検討

(イ) 取組実践(庁内及び地域関係者の協働による取組強化)

(ウ) 下記a～cについて, 各市町村の実情に応じ可能な部分から取り組む。

a 脳卒中発症予防(一次予防)

- ・ 青壮年期を対象にした食生活調査・減塩指導の実施
- ・ 地区組織の活用等による普及啓発の強化 等

b 脳卒中の早期発見・早期介入及び指導強化(二次予防)

- ・ 脳卒中ハイリスク者の早期発見と指導強化
- ・ 地域の医療機関等と協働した保健指導の場づくりや連携体制づくり
- ・ 特定保健指導の対象とならないハイリスク者を含めた保健指導の充実 等

c 脳卒中による要支援・要介護認定者の重症化予防及び再発予防(三次予防)

- ・ 介護予防に取り組む地域づくり
- ・ 脳卒中による新規認定2号被保険者に対する個別指導
- ・ ケアプランのチェック(プラン内の再発予防の位置づけ)等

イ 市町村の取組に係る地域振興局等による支援

(7) 重点取組地域

a 地域検討会の開催(年2回以上, 既存事業の活用可)

市町村, 関係団体等による管内の脳卒中对策推進に係る情報共有及び意見交換や地域における重点取組施策の決定とその推進, 進捗管理

b 地域振興局等による重点取組地域の取組支援

(イ) 重点取組地域以外の地域

a 地域検討会等の開催(既存事業の活用可)

3 取組実績

1 脳卒中对策推進検討会

年度	開催日	内容等
H28	※事業開始年度のため、重点取組地域等で事業説明会を開催	
H29	①平成29年5月25日 平成29年5月30日 平成29年5月31日 ②平成30年1月15日	①※各地域と共同開催 脳卒中对策事業について、各市とのヒアリング 等 ②先行地域(大分県)、重点取組地域の取組報告、意見交換 等
H30	平成31年1月8日	重点取組地域の取組報告、意見交換 等
R元	令和2年2月7日	県の現状及び重点取組地域(保険者協議会、枕崎市)の取組報告、意見交換 等
R2	※新型コロナウイルス感染症の影響により中止	
R3	※新型コロナウイルス感染症の影響により中止	

2 保健・医療・介護等関係者に対する研修会

年度	開催日	内容
H28	①平成29年2月16日	講話「介護従事者にできる脳卒中予防と支援のポイント～高齢になるほど多くなる脳梗塞「心原性脳塞栓」とは?～」
	②平成29年3月16日	講話「糖尿病重症化予防について～糖尿病専門医の立場から～」
H29	平成30年1月16日	講話「超高齢化社会の循環器疾患予防～乳幼児期から高齢期までの戦略的な生活習慣病対策～」 講話「歯周疾患と生活習慣病について～口腔ケアの重要性～」 等
H30	①平成31年1月8日 ②平成31年2月6日	講話「改めて学ぶ脳卒中～疾患の特徴と一次から三次予防まで～」 講話「日本脳卒中協会の取組について」
R元	令和2年2月7日	講話「脳卒中リハビリテーション：医療と介護の連携」 講話「大勝病院における回復期リハビリテーション病等の実際 等
R2	※新型コロナウイルス感染症の影響により中止	
R3	令和4年2月4日 (Web開催)	報告「県内の取組事例発表」 講話「脳卒中に係る予防及び治療について」 等

3 県民向け啓発講演会

年度	開催日	内容
H28	平成29年1月29日 (奄美地域)	講演「脳卒中とドクターヘリ～期待される治療効果～」 講演「脳卒中をどこでくい止めるか ～よりよく生活するために～」 等
H29	①平成29年8月27日 (始良・伊佐地域)	講演「打倒脳卒中！今すべきこと」 講演「脳卒中を予防しよう！～食事の工夫～」
	②平成30年1月20日 (南薩地域)	講演「寝たきりにならないために ～みんなで学ぼう 脳卒中の予防と対策～」 等
H30	平成30年11月25日 (熊毛地域)	講演「脳卒中の予防について」 講演「脳卒中とその治療」 等
R元	令和元年10月26日 (奄美地域)	講演「みんなで学ぼう！脳卒中の予防と治療」 ※奄美薬剤師会の「薬と健康の週間県民講座」と共同開催
R2	※新型コロナウイルス感染症の影響により中止	
R3	※新型コロナウイルスの影響により中止	※開催中止となったが県HPにより資料を掲載 講演「脳卒中にならないために」 講演「食べる楽しみいつまでも ～食の入口としてお口の健康を支援します。～」

4 重点取組地域の取組

① 南薩地域

年度	開催日	内容
H28	地域推進検討会 ①平成28年9月30日 ②平成29年3月6日	①平成28年度の事業計画について、南薩地域の目標の設定について 等 ②平成28年度の脳卒中对策事業の取組について
	関係者向け研修会 平成28年12月14日	報告「管内の現状と脳卒中予防対策について」 講演「脳卒中の重症化及び再発予防」 等
H29	地域推進検討会 ①平成29年5月25日 ②平成29年9月19日 ③平成30年3月12日	①※健康増進課と共同開催 脳卒中对策事業について、各市とのヒアリング 等 ②情報提供、各市の現状課題、今後の事業計画 等 ③各市の事業報告、意見交換 事例発表「南さつま市における脳卒中の予防の取り組み について～幸血圧プロジェクト～」 等
H30	地域推進検討会 ①平成30年11月6日 ②平成31年2月25日	①県の脳卒中对策事業について ②各市の取組事業について、情報提供 等
R元	地域推進検討会 ①令和元年12月26日 ②令和2年2月13日	①各市との意見交換 ②各市の取組状況の報告について、
R2	地域推進検討会 令和3年3月19日	※書面開催 管内各市の取組状況の確認、効果的な事業展開のための 情報共有 等
	関係者向け研修会 令和3年1月6日	※特定検診・特定保健指導フォローアップ研修と合同開催 講演「今日からできる！現場で役立つ運動指導」 等
R3	地域推進検討会 ①令和3年6月24日 ②令和3年12月20日	①南薩地域の脳卒中对策の現状と取組について 等 ②南薩地域の取組と評価について、取組事例の紹介 等

②奄美地域

年度	開催日	内容
H28	地域推進検討会 ①平成28年5月26日 ②平成28年12月7日 ③平成28年3月6日	①協議「現状とこれからの脳卒中对策」 脳卒中对策に係る取組 等 ②重点取組施策（取組状況の説明），市町村の具体的取組 と進捗状況 等 ③事業進捗状況の確認，次年度の取組計画
H29	地域推進検討会 ①平成29年5月30日 平成29年5月31日 ②平成29年8月31日	①※健康増進課と共同開催 脳卒中对策事業について，各市とのヒアリング 等 ②管内の現状について，意見交換 等
	関係者向け研修会 平成29年12月1日	報告「脳卒中既往のある方への聞き取り調査について」 講話「脳血管障害という病気について」 等
H30	地域推進検討会 ①平成30年6月25日 平成30年6月27日 平成30年7月12日 ②平成30年11月19日	①※各市町村ごとに個別ヒアリングで実施 平成30年度の事業計画確認，最終年度の到達目標確認 等 ②来年度の事業展開の情報提供，平成30年度の事業進捗状 況の確認，意見交換 等
	関係者向け研修会 平成31年2月6日	講話「改めて学ぶ脳卒中 ～疾患の特徴と一次から三次まで～」 報告「脳卒中協会の取組について」 等
R元	地域推進検討会 ①令和元年8月16日 ②令和元年11月8日 ③令和2年3月27日	①管内の現状と課題について，各市町村との意見交換 等 ②各市の取組状況の報告，最終年度を見据えた評価につ いて 等 ③令和元年度の取組について，令和2年度の取組について
R2	地域推進検討会 ①令和2年9月17日 ②令和2年11月24日 ③令和3年2月26日	①令和元年度の取組状況の報告，最終年度に向けた取組に ついて 等 ②各市町村の取組報告，意見交換 等 ③各市町村の令和3年度の取組について，意見交換 等
	関係者向け研修会 令和2年12月6日	※特定検診・保健指導推進フォローアップ研修と合同開催 報告「脳卒中にならないための糖尿病重症化予防の実 際」グループワーク 等
R3	地域推進検討会 ①令和3年6月18日 ②令和3年8月4日 ③令和3年10月27日 ④令和4年3月11日	①令和2年度の事業の報告，管内の健康課題についてのグ ループワーク 等 ②令和3年度の取組状況の報告，管内脳卒中对策推進事業 に係る協議 等 ③管内脳卒中对策推進事業に係る報告，意見交換 等 ④令和3年度の事業報告 等
	関係者向け研修会 令和3年10月27日	講話「全身疾患へ影響を及ぼす歯周病について」 報告①「食形態調整の取組」 報告②「摂食・嚥下リハビリの取組」 等

5 啓発用ポスター・チラシの作成、配布

ポスター及びチラシを作成し、各市町村、職域等の特定保健指導等に活用できるように配布した。

(配布団体)

各市町村、健康かごしま21推進協議会構成団体、地域・職域・学域推進協議会、職場の健康づくり賛同事業所、健康増進センター 等

(H28)



(H29)



(H30)



(R1)



(R2)



(R3)



4 成果と課題

(1) 脳血管疾患死亡率

- 人口10万人対死亡率及び死亡数は、年々減少している。

【脳血管疾患死亡率の推移（人口10万人対）】

	H23	H28	H29	H30	R元	R2
本 県	145.2	128.3	127.1	122.9	111.4	109.4
全 国	98.2	87.5	88.2	87.1	86.1	83.5
本県順位	4	5	9	8	14	10
本県全国比	1.48	1.47	1.44	1.41	1.29	1.31
本県死亡者数（人）	2,458	2,091	2,055	1,971	1,770	1,726

（人口動態統計）

- 脳卒中対策プロジェクト開始年度（平成23年）に比べ、令和2年の脳血管疾患死亡率は、24.7%の減少率となっており、全国や九州各県の減少率を上回っている。

【脳血管疾患死亡率の減少率】

	H23	H28	R2	減少率	順位
鹿児島	145.2	128.3	109.4	24.7	1
全国	98.2	87.5	83.5	15.0	—
福岡	86.7	75.8	70.7	18.5	3
佐賀	109.1	100.1	85.4	21.7	2
長崎	106.2	93.6	93.6	11.9	5
熊本	107.1	99.2	89.8	16.2	4
大分	117.7	108.0	108.0	8.2	7
宮崎	122.4	109.3	109.3	10.7	6
沖縄	65.8	67.6	67.6	-2.7	8

（人口動態統計をもとに算出）

- 脳血管疾患の令和2年の年齢調整死亡率は、「健康かごしま21」の令和5年度の目標値を下回っている。

【脳血管疾患年齢調整死亡率（人口10万人対）】

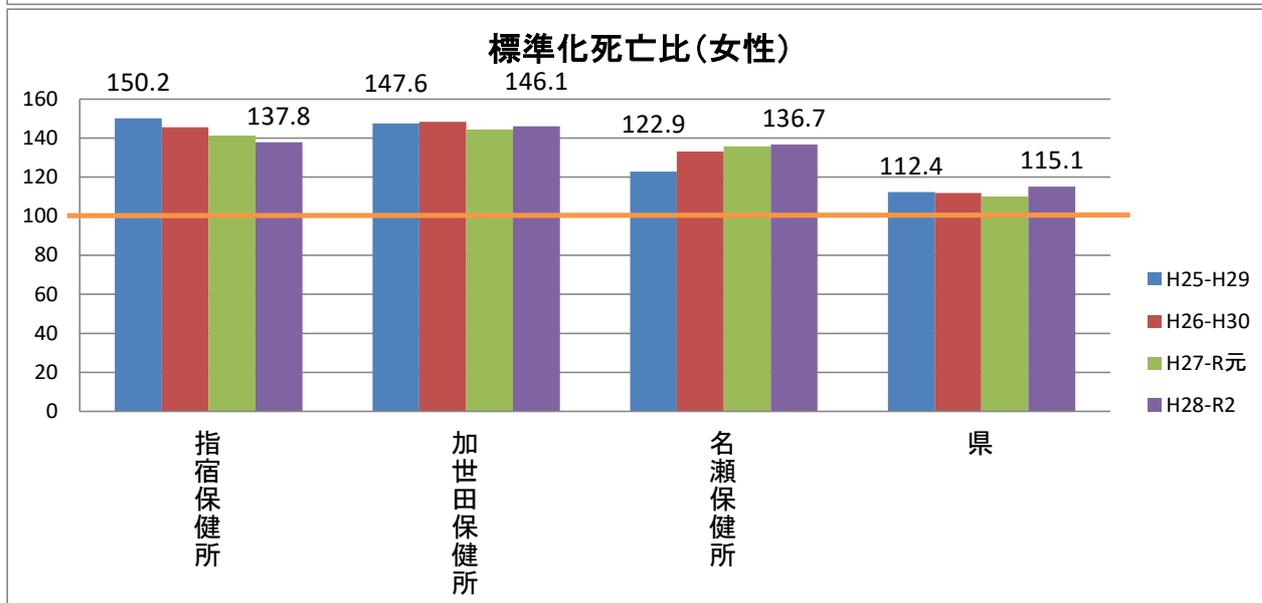
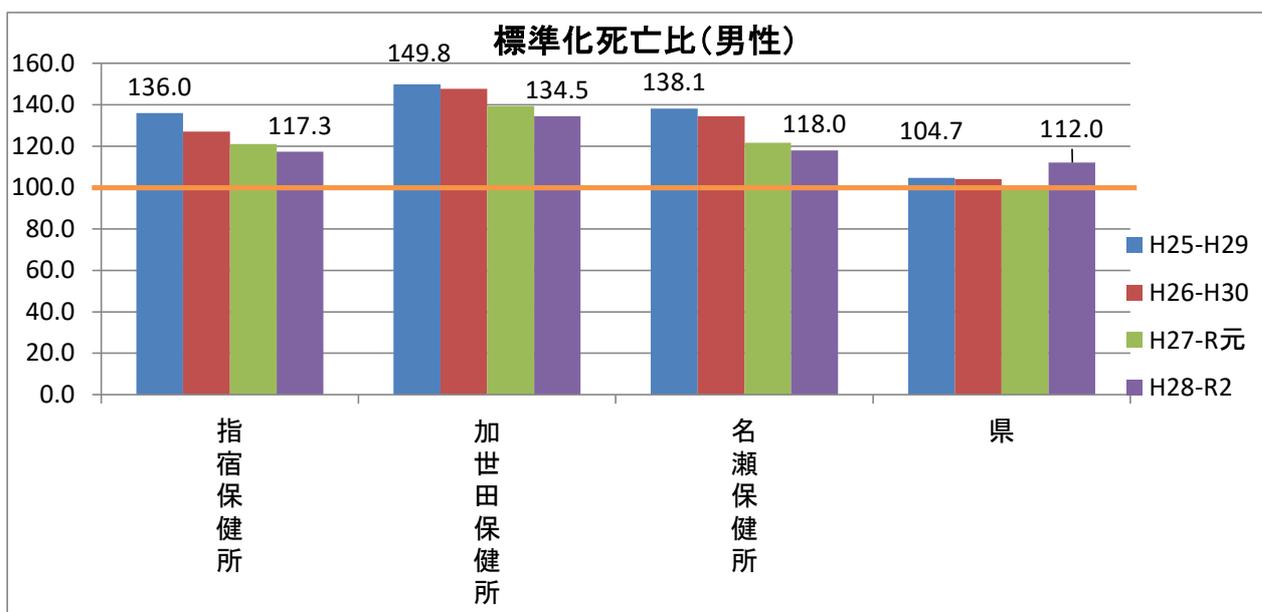
	H23	H28	H29	H30	R元	R2	目標値 (R5)
男性	56.7	44.9	44.4	40.4	33.9	35.5	44.1以下
女性	31.2	24.8	22.6	21.2	20.5	21.0	27.5以下

（健康増進課作成）

(2) 脳血管疾患標準化死亡比（SMR）

ア 重点取組地域の経過

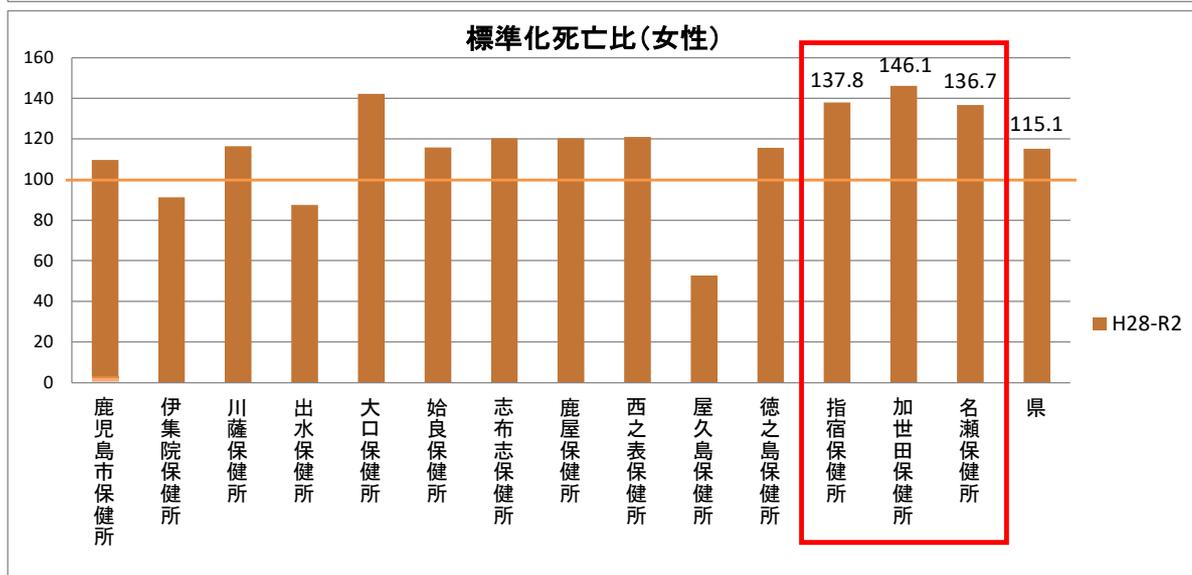
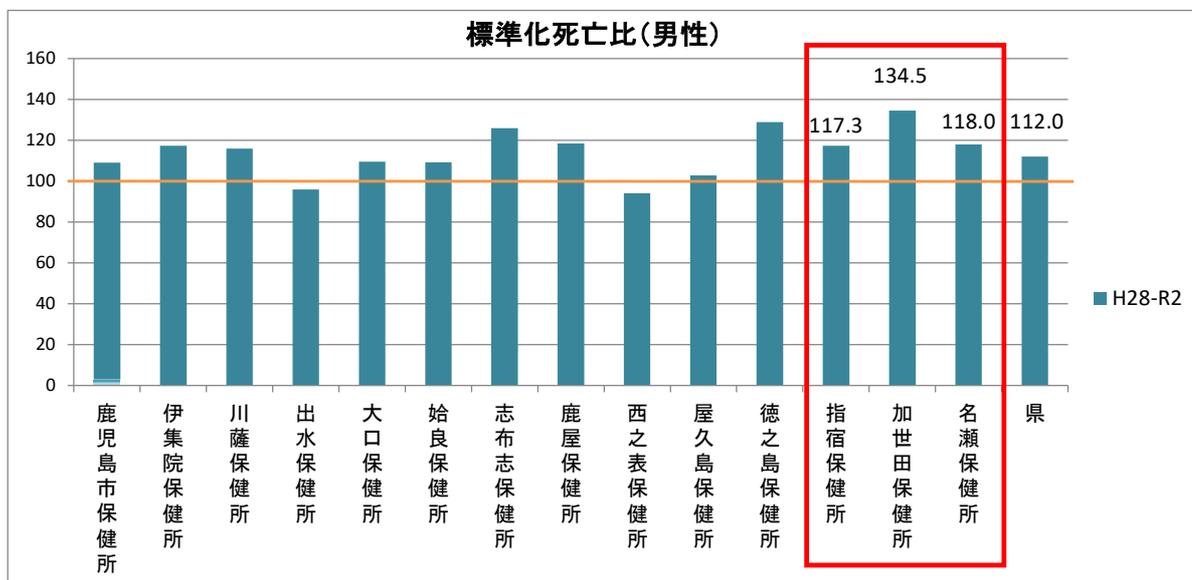
- ・ 男性の標準化死亡比は、南薩地域（指宿保健所及び加世田保健所）及び奄美地域（名瀬保健所）は減少傾向にある。
- ・ 女性の標準化死亡比は、指宿保健所では減少傾向であるが、加世田保健所管内では変化が見られず、また、奄美地域（名瀬保健所）は増加傾向にある。



(健康増進課作成)

イ 各保健所との比較

- ・ 各保健所と比べ重点取組地域は依然として、県内でも高い状況である。
- ・ 重点取組地域では、男性、女性ともに、全国を大きく上回っており、なかでも加世田保健所管内においては、男性134.5、女性146.1であり、いずれも県内の保健所では最も高値である。



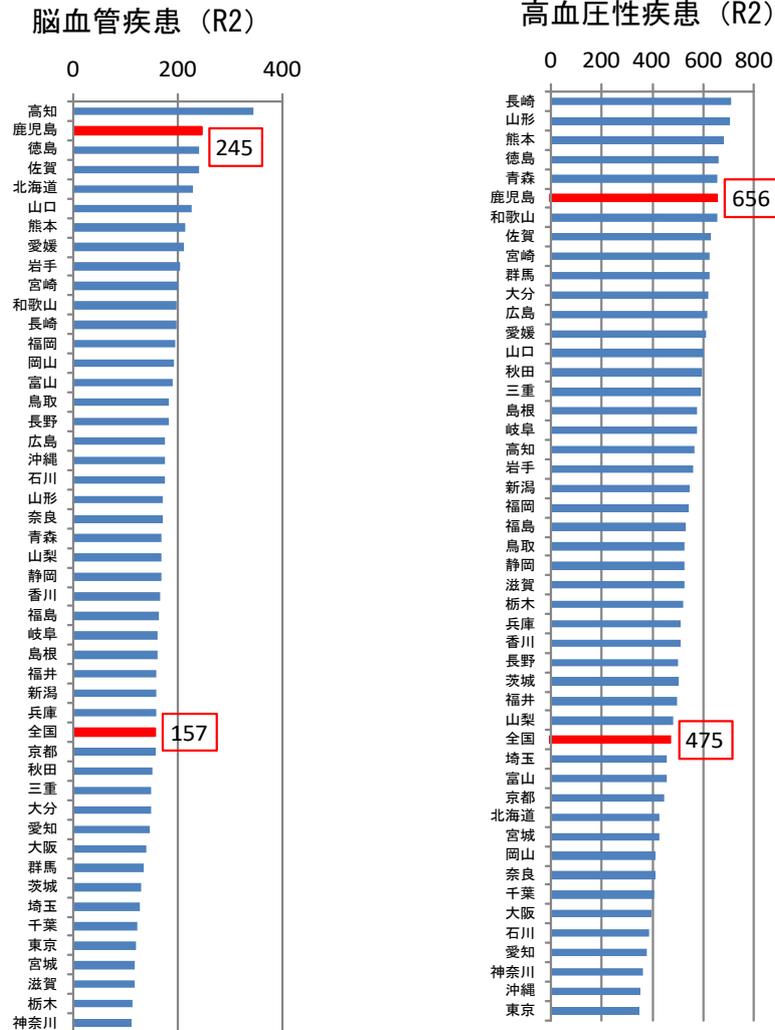
(健康増進課作成)

(3) 脳血管疾患・高血圧性疾患の受療率

- 平成23年以降，脳血管疾患及び高血圧性疾患の受療率は減少傾向にあるが，全国より高い。

【受療率（人口10万人対）】

	H23	H26	H29	R2	全国 (R2)
脳血管疾患	407	385	310	245	157
高血圧性疾患	729	841	761	656	475



(健康増進課作成)

(4) 2号被保険者で脳血管疾患により要介護（要支援）状態になった者の割合

- 平成23年以降，年々減少傾向にある。

	H23	H28	H29	H30	R元	R2
総認定件数	2,972	2,320	2,171	1,995	1,757	1,626
脳血管疾患	1,766	1,316	1,222	1,101	934	842
割合 (%)	59.4	56.7	56.3	55.2	53.2	51.8

(介護保険総合データベースから作成)

(5) 特定健康診査・特定保健指導の実施率（市町村国民健康保険）

- ・ 「特定健康診査の実施率」及び「特定保健指導の実施率」は、県全体では令和元年度までは増加傾向であったが、令和2年度においては減少している。
- ・ 重点取組地域においては、各市町村により状況が異なる。

ア 特定健康診査の実施率

		H28	R元	R2
鹿児島県		42.9	44.7	41.1
重点取組地域	指宿市	43.5	43.0	40.1
	枕崎市	42.8	49.7	39.5
	南さつま市	53.4	52.1	51.8
	南九州市	56.0	52.1	37.9
	奄美市	36.7	35.3	38.4
	大和村	48.6	36.4	39.1
	宇検村	33.2	58.5	50.1
	瀬戸内町	33.7	45.2	47.4
	龍郷町	46.1	47.3	46.7
	喜界町	43.6	42.0	37.5

（出典：国民健康保険団体連合会）

イ 特定保健指導の実施率

		H28	R元	R2
鹿児島県		46.0	47.5	45.9
重点取組地域	指宿市	29.6	51.3	40.1
	枕崎市	52.0	44.1	39.5
	南さつま市	49.5	41.5	51.8
	南九州市	47.7	54.2	37.9
	奄美市	36.4	52.2	38.4
	大和村	56.3	30.8	39.1
	宇検村	50.0	33.3	50.1
	瀬戸内町	47.2	50.9	47.4
	龍郷町	27.4	54.4	46.7
	喜界町	32.0	29.6	37.5

（出典：国民健康保険団体連合会）

(6) まとめ

脳血管疾患の死亡率や2号被保険者で脳卒中により要介護（要支援）になった者の割合の減少は見られたが、県全体の標準化死亡比（SMR）や受療率は全国より高い状況にあり、そのなかでも重点取組地域の標準化死亡比（SMR）は県内でも依然として高い状況にある。

このことから、引き続き、脳卒中の発症及び重症化予防に関する普及啓発や特定健康診査及び特定保健指導の実施率の向上に向けた取組が必要である。